

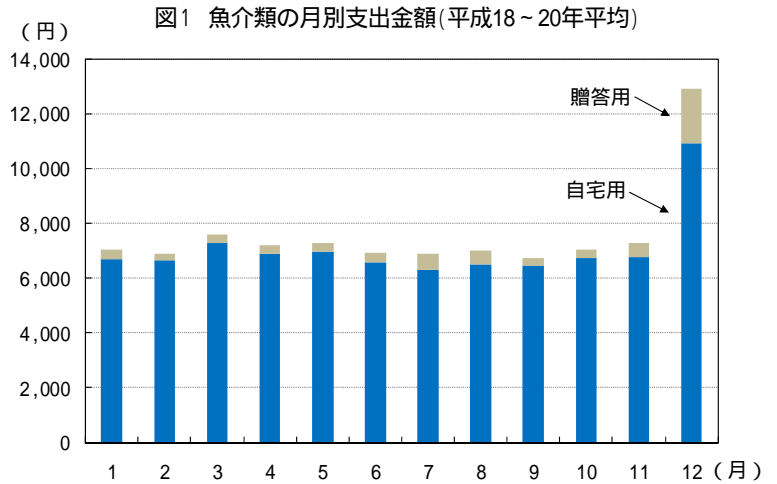
魚介類への支出

- 家計調査（二人以上の世帯）結果より -

12月はお歳暮やおせち料理用などで魚介類を購入する御家庭も多いのではないのでしょうか。そこで今回は魚介類への支出について家計調査結果からみてみましょう。

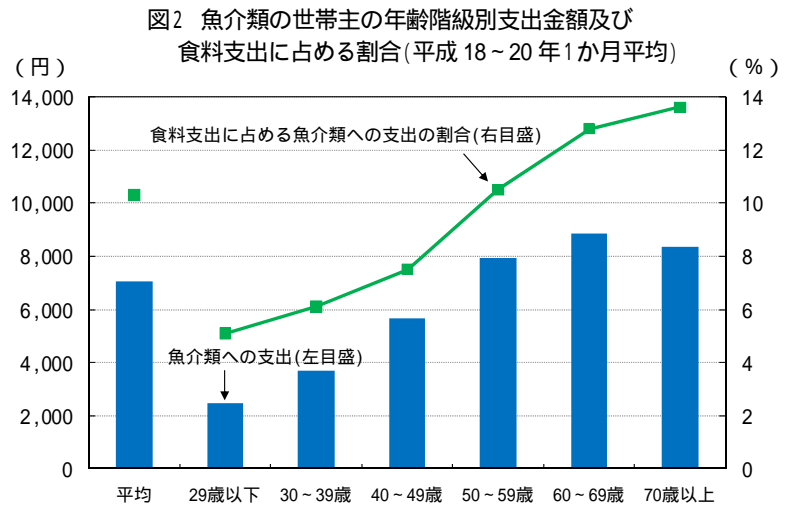
12月に増える魚介類への支出

1世帯当たりの魚介類への支出金額を月別（平成18～20年平均）にみると、他の月に比べ12月の支出が多くなっています。また、自宅用に購入した金額と他の世帯用（贈答用）に購入した金額に分けてみると、12月は他の世帯用の支出も多くなっていることがわかります（図1）。



魚介類への支出が多い60～69歳の世帯

次に、1世帯当たりの自宅用に購入した魚介類への支出金額（平成18～20年1か月平均）を世帯主の年齢階級別にみると、年齢が高くなるほど支出は多くなり、60～69歳の世帯が最も多くなっています。また、食料支出に占める魚介類への支出の割合をみると、70歳以上の世帯が最も高くなっています（図2）。



10年間で支出が大きく減少した40～49歳の世帯

最後に、1世帯当たりの自宅用に購入した魚介類への支出金額について、世帯主の年齢階級別の推移を価格の変動分を除き昭和63年を100とした実質金額指数でみると、昭和63年からの10年間では、30～39歳の世帯が最も大きく減少しており、次いで29歳以下の世帯の減少が大きくなっています。

一方、平成10年を100とし、以降10年間の推移をみると、40～49歳の世帯が最も大きく減少し、また、昭和63年からの10年間では14%ほどの減少であった50～59歳の世帯でも、32%ほど減少しています。

このように、近年は世帯主の年齢が高い世帯でも魚介類への支出が大きく減少してきていることがわかります（図3）。

